

## オーディオ実験室収載

### FIDATA HFAS1-S10 の活用(21) —CD の再生(2)—

#### 1. はじめに

前報(20)で HFAS1-S10 による CD 再生に関する対策の方法が固まつきましたので、これまでの PC オーディオによる再生と比較してみます。

#### 2. HFAS1-S10 による CD 再生の試聴方法

HFAS1-S10 による CD 再生は次のルートで行います。

BRD-UT16WX→ES-OT 4→US3-HB4AC→ HFAS1-S10→US3-HB4AC→  
SWD-DA20

\*HFAS1-S10 の前後の US3-HB4AC は同一機

BRD-UT16WX にはアリエナイザー PSI-1000 を敷き、BRD-UT16WX の電源の DC ケーブルには、アモルメット NS285 を使用します。

PC による CD 再生は次のルートで行います。PC の再生ソフトは HQPlayer を使用し、アップサンプリングなどは行いません。

BRD-UT16WX→ES-OT 4→PC→SWD-DA20

ともに SWD-DA20 への GPS-777 から 44.1kHz のクロックを入力します。

また、PC と BRD-UT16WX にはアリエナイザー PSI-1000 を敷いています。

#### 3. HFAS1-S10 による CD 再生の試聴結果

HFAS1-S10 による CD 再生の良いところは何と言っても静かなことです。

RD-UT16WX もそれほど回転音がしませんし、PC は再生指示に Kinsky を働かすだけで、後はスリープ状態になっています。

一方、PC 経由の場合は BRD-UT16WX を認識してくれませんので、ES-OT 4 を外すと認識しました。

BRD-UT16WX→PC→SWD-DA20

この状態で音を比較しますと、HFAS1-S10 による CD 再生は、USB ハブが入っているにも関わらず、静寂感の上にディテールの再現や倍音の伸びが違います。

PC 経由の場合は USB ハブを介在せず、PSI-1000 を敷くことにより、従来より静寂感は向上しているのも拘わらず、再生中は HQPlayer が働き続けており、HFAS1-S10 による CD 再生より騒がしく、その中に微妙な音楽表現が埋もれてしまいがちです。HFAS1-S10 による CD 再生に戻り、BRD-UT16WX と Plextor Premium 2U との比較もやってみました。BRD-UT16WX がスタティックで纖細な音がして CD を聴い

ている感じがしないのに対し、Plextor Premium 2U は躍動感があつて押し出しの良い音がします。Plextor Premium 2U が音が良い音楽用ドライブとして評価されたことも分かりますし、BRD-UT16WX は HFAS1-S10 による CD 再生という良い働き場所を見つけたとも言えます。

なお、US3-HB4AC は TV 用 USB3.0 ハブという表記があり、音楽用ではなく、また、HFAS1-S10 との接続は一方がミニ端子の付属の USB3.0 ケーブルで行っていて、音楽用 USB ケーブルではありません。音楽用 USB ケーブルに交換できる音楽用 USB ハブの開発が待たれます。

#### 4. まとめ

HFAS1-S10 による CD 再生は、USB ハブが入っているにも関わらず、静寂で、音質的にも PC による再生を凌駕するものでした。US3-HB4AC は音楽用ではなく、ケーブルも音楽用 USB ケーブルではありませんので、音楽用 USB ハブの開発が待たれます。

以上